

## 令和元年度 第2回学校運営協議会記録

1. 日 時 令和元年9月7日(土) 11時00分～12時00分

2. 場 所 本校・校長室

3. 出席者 学校協議会委員(出席5名・欠席1名)  
帝塚山学院大学教授 溝手 真理  
学校歯科医 戸堂 耕造  
高石市立高石中学校校長 南 良博  
本校同窓会会長 山口 裕通  
本校 PTA 会長 松田 直子

4. 協議概要 協議に先立って、  
「学校の近況報告」、  
「新たな取組について」、  
「高石高校防災・減災プロジェクトチームの活動報告」  
「世界津波の日・高校生サミット in 北海道」への派遣生徒紹介  
および発表を行いました。

以下、協議において出席委員から出された主な意見等です。

(安全対策・防犯面について)

- 夏休み明けから教職員は学年色の紐を付けた名札を着用し、外来者には外来者用の名札を着用していただくようにしたことは、安全対策として前進であろう。
- 名札着用は不審者の侵入を抑止する体制といえる。警察にも防犯について助言を求め、より安全な学校をめざしてもらいたい。

(生徒の様子について)

- 文化祭というような発表の場で、生徒がいきいきしている様子を見ることができるのは、学校外の人間にとって非常に良い機会である。学校外に向けて発信していく機会が他にも作れば

よい広報になるのではないか。

(PTA 活動について)

- 文化祭でも PTA がバザー等で積極的に関わり、近隣の住民や保護者の注目度も高く、高石高校の教育活動や広報活動をしっかり支援している様子が見られた。非常に良い雰囲気で行われていることがわかった。

(高校生サミット派遣生徒について)

- 世界津波の日・高校生サミットで英語で発表するリハーサルを拝見させてもらったが、派遣生徒にとって非常に良い機会になっている。英語でのスピーチということで、準備面ではたいへんだったと思うが、素晴らしかった。是非、頑張ってきてもらいたい。
- 自分たちの仲間で国際会議に出て、発表する生徒がいるということで、他の生徒たちにも良い刺激になるであろう。何か発表する機会を提供すれば、そこで力を発揮することができる生徒が潜在的にかなりいるのではないか。
- 派遣する3名の生徒以外にも、発表の準備に協力し、文化祭でポスターセッションで発表する場を作ったというのも、今後につなげていくことを考えると非常に良かったのではないか。